

聴講歓迎・参加無料

令和 7 年度第 1 回シンビオ社会研究会講演会のご案内

～シンビオ社会研究会の 27 年の歩みとその新たな展開～

日時：令和 7 年 5 月 29 日(木) 15:00-17:10 (開場 14:45)

会場：宇治市五ヶ庄 京都大学宇治キャンパスエネルギー理工学研究所本館5階会議室(N571E)

及びZOOMによる

交通：JR 奈良線黄檗駅または京阪宇治線黄檗駅下車 地図は・・・[こちら](#)

主催：NPO 法人 シンビオ社会研究会

共催：京都大学エネルギー理工学研究所

協賛：日本保全学会西日本支部

※ 運営上の都合により、会場を変更しました

【ご挨拶】

シンビオ社会研究会では、平成 10 (1998) 年 7 月 7 日に宇治キャンパス木質ホールで開設記念講演会を行って以来現在まで 27 年間にわたり、大学と社会が「エネルギーと社会・環境の関わり」をともに考える場としてパブリックアウトリサーチ活動を続けてまいりました。それ以来、当会の会長を務めてこられた吉川榮和理事がこの度、同職を退任され、役員体制の世代交代を行って新たな方向への展開を期することといたしました。

そこで今回に講演会では、これまでの当会の活動を振り返るとともに「カーボンネガティブ」をキーワードにした新たなエネルギー研究の展開に関する講演を通じて、環境とエネルギーの未来を考える講演会として、下記の通り企画いたしました。

長かったコロナ期間がようやく終焉したこともあり、以前のように現地会場での懇親会も復活余すので、より多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

つきましては懇親会を含めて講演会準備の都合上、講演会に参加の方は、参加申込の要領にて 5 月 16 日(金)までにお申し込みください。

(講演会世話人) 理事：森下和功、吉川 遼

～プログラム～

司会：森下和功 理事

★開会の挨拶 15:00～15:15

「シンビオ社会研究会の今後の取り組み」

新会長(候補) 吉川 遼 理事

★講演 1：15:15～16:15 (講演 50 分 質疑 10 分)

講演題目：「カーボンネガティブエミッションを目指して」

講師：野平俊之(のひら としゆき) 氏(京都大学エネルギー理工学研究所・教授)

略歴：1993 年京都大学工学部原子核工学科卒業、95 年 原子核工学専攻修士課程修了、98 年同博士後期課程修了、博士(工学)、98 年 京都大学エネルギー科学研究科助手、07 年 同准教授、15 年 京都大学エネルギー理工学研究所教授、25 年 京都大学エネルギー理工学研究所附属カーボンネガティブ・エネルギー研究センターセンター長、現在に至る。専門は、熔融塩およびイオン液体



の電気化学、高温溶融塩を用いた CO₂ からのダイヤモンド電解合成、高温溶融塩を用いた太陽電池用シリコンの製造、イオン液体を用いたナトリウム二次電池など

講演概要： CO₂ の実質排出量がゼロである「カーボンニュートラル社会」を実現するためには、排出される CO₂ の削減だけでなく、大気中の CO₂ を固定化・有効利用する「カーボンネガティブエミッション」という概念と技術が重要である。近年、再生可能エネルギーを用いた電気化学反応により、CO₂ から有用物質を作る技術が注目されている。我々は、炭素を含む有用物質の中でも極めて付加価値の高い「ダイヤモンド」を、CO₂ と水というありふれた原料から電気分解で作る研究を行っている。どのような原理でそれを実現しようとしているのか、また、現時点での成果を紹介する。

発表資料・・・後日連絡します

—————休憩 10 分—————

★講演 2：16:25～17:05（講演 30 分 質疑 10 分）

講演題目： 「シンビオ社会研究会—その歴史と今後への期待」

講師： 吉川 榮和（よしかわ ひでかず）氏（京大名誉教授）

略歴： 1970 年京大大学院工学研究科博士課程電気工学第二専攻修了（工学博士）その後京大原子エネルギー研助手、動燃大洗工学センター蒸気発生器部副主任研究員（高速炉安全性試験室）を経て 81 年 8 月京大原子エネルギー研助教授（原子炉計測工学部門）、92 年 8 月教授。96 年 5 月新設の大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻教授（エネルギー情報学）に移動。2004 年評議員、2005 年エネルギー科学研究科長、2006 年 3 月末京大定年退職、同年 4 月より京大名誉教授。2007 年 7 月より 2025 年 5 月 29 日まで NPO 法人シンビオ社会研究会会長。原子力安全、マンマシンシステム、エネルギー情報学が専門。



講演概要： シンビオ社会研究会は、1998 年 4 月京大エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻に『エネルギー社会システム計画（関西電力）』講座が設置され、同年同専攻に、大学と社会が『エネルギーと社会・環境の関わり』をともに考える場としてシンビオ社会研究会を開始したことに端を発し、その後シンビオ社会研究会は 2006 年 12 月 12 日特定非営利活動法人として京都府に司法登記した。その発足当時の背景とその後 2018 年までの経緯は、2018 年 4 月 27 日シンビオ社会研究会総会講演会で『シンビオ社会研究会の 20 年を振り返る』と題する講演で発表しており、シンビオニューズアンドレポート Vol.(7), No.(1), Year(2018)として PPT と講演記録が掲載されている。(URL・・・[こちら](#))

本講演では講演者が 1998 年当時から本年会長を退任するまでの変遷の歴史をその活動成果を中心に振り返るとともに、2021 年 8 月に京都市から宇治キャンパスに事務所を移転して以来の新たな方向の取り組みを展望して、今後のさらなる発展を期待する。

発表資料・・・後日連絡します

★閉会の挨拶 17:05～17:10 塩路昌宏 理事

★講演会終了後 懇親会 17:30～19:30

会場：宇治キャンパス内(本館 5 階 W501E ラウンジ 503E)

会費： 5,000 円程度(講演会会場受付時に申し受けます)